

1964年夏の理科作品展に拾った2~3の蝶と、 その分布について

山 本 広 一

9月になると、児童や生徒たちが夏休み中に集めた生物や岩石などの作品展が開かれる。私は、できるだけこうした機会を捉えて、出品された昆虫の標本を調べたり、また、直接採集者に会って採集当時のもようや、その地の生息状況を聞いてきた。しかし、何分にも学童の多くが、採集にことなれないので、種類も身近なものに限られるが、1年を通じ、計画的な採集が指導されている所では、ときに思いがけない珍種に接することがある。

以下、私が本年こうした会場を巡って、拾った多くの資料から、注目すべき2~3の蝶を報告し、その種の県下における分布の状態を述べたいと思う。（*印は新しい記録地である）

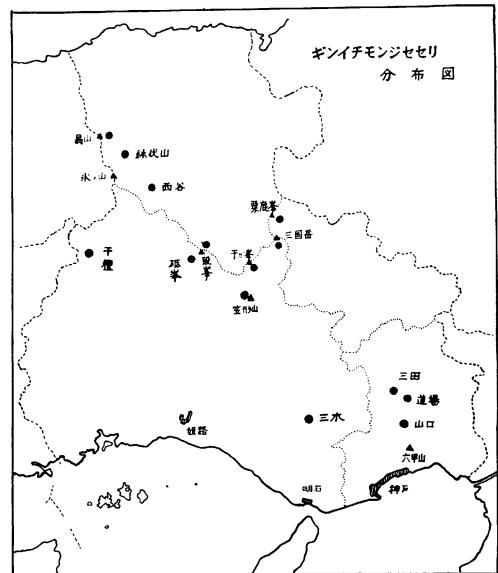
1. ギンイチモンジセセリ

Leptalina unicolor BREMER et GREY

姫路市立科学館で開かれた市内学童の理科作品展に、1964年8月12日、神崎郡砥峯高原で採集された2 exs. (夏型)があった。本種は、横山光夫：原色日本蝶類図鑑(保育社、1954)に福知山線道場付近に少なくない⁽¹⁾とあり、場所が阪神地方に近いので、採集者が多く収獲は案外少ないようである。そのうえ、発生地が水田に接した鉄路わきや武庫川堤であるため、農薬の影響が大きく、やがては大阪府下の貴志地方と同じ運命をたどるのでないかと憂慮される⁽¹⁾。しかし、県下には次のようにいくつかの発生地が知られており、なかでも美方郡扇ノ山山麓の草原は最も有望な採集地の一つと思われる。

1. 神戸市道場(横山光夫：1954)
2. 美囊郡三木町〔三木市旧三木町付近〕(延原肇：1938, 採集地・採集月日などの記載はない)
3. 氷上郡粟鹿峯(山本義丸：1958)
24. VI, 1953, 越智研一郎君採集・県立柏原高校所蔵
- 4.* 宍粟郡千種町河呂付近
25. V, 1958, 1♀, 筆者採集・所蔵
- 5.* 養父郡鉢伏山麓〔関宮町大久保付近〕(武田博允：1958, 私信)

30. V, 1958, 1♂, 武田博允氏採集・所蔵
6. 養父郡大屋町中間(中尾淳三：1959)
3. VII, 1958, 1♂, 上垣喜久雄君採集・中尾淳三氏所蔵
7. 美方郡扇ノ山山麓(辻啓介：1961)
11. V, 1961, 3♂, 辻啓介氏採集・筆者所蔵
- 8.* 三田市大原町(三田学園蔵本博美：1962, 私信)
- 9.* 神戸市有馬, 下山口(尾崎伸一：1963, 私信)
29. IV, 1962, 1♂, 尾崎伸一君採集・所蔵
- 10.* 多可郡三国岳山麓〔加美町〕(猪股涼一：1964, 私信)
24. VI, 1962, 1ex. 奥村英世氏採集・猪股涼一氏所蔵
- 11.* 神崎郡笠形山麓〔神崎町〕
24. VI, 1962, 1♀, 名越寛君採集・所蔵
- 12.* 多可郡千ヶ峯山麓〔加美町〕(猪股涼一：1964, 私信)
一. VI, 1964, 1ex. 田中教一氏採集・所蔵



第 1 図

(1) 数年前、富田林地方で大発生したドクガを駆除するため、この地域一帯に撒布された薬剤により、ギンイチモンジセセリも急に減少し、昨今ではほとんど見られないという。

13.* 神崎郡砥峯高原(大河内町)

12. VII, 1964, 2♂♂, 二谷正義氏採集・所蔵

14. この他に吉阪道雄氏は、西村公夫氏が朝来郡段が峯の北斜面で採集した標本を見た(山本広一・吉阪道雄:1958)といっているが、採集月日など詳かでない。

第1図は上記の資料によって作った県下の分布図である。これによると、本種は中国山地の周辺の山麓や草原に生息するものと思われる。しかし、一般に個体数は少なく、局地性が著しいうに、ススキなどの多い叢から飛びたつ恰好が蛾に酷似するので見落され易い。5月上旬に春型が現われ、7~8月になって夏型が発生する。しかし、夏型は概して少ないようである。

2. キマダラルリツバメ

Spindasis takanonis MATSUMURA

本種も、また、広嶺中学理科研究部の出品中に見うけたもので、姫路市仁豊野で2exs. が採集されている。同校の二谷正義教諭は、“峯つづきの広峯山にはアカマツが多いので、群生しているかも知れない”と説明しているが、法西氏によって発見された大野峠の発生地も近く、このあたり一帯に多産するものと思われる。

現在までに判明した採集地は、

1. 竜野[竜野市旧竜野町](福田卓:1906)

1902年6月下旬~7月上旬の頃に採集されたものを、福田[駒井]氏が竜野の友人を訪ねられた際に譲り受けられ、標本は後日高野鷹蔵氏を経て松村松年博士に届けられた。

2. 佐用郡久崎村[上月町久崎](井口宗平:1950)、井口氏は当時名和[靖]氏の採集人であった高見筆太郎氏が2exs. を採集していたことを報じている。その採集場所や採集月日については何も触れていないが、おそらく、岡山県和気郡に近い西部であろうと思われる。

3. 小野市下来住町(山本広一:1958)

19. VI, 1955, 5♂♂, 筆者採集・所蔵

4.* 加西郡加西町桑原田

20. VI, 1955, 3♂♂, 岡田幸雄氏採集・筆者所蔵
岡田氏は、1953年にも同地で1ex. を獲られたらしいが、標本は他に譲与されており、採集月日は明らかでない。

5. 姫路市大野峠(法西浩:1958)

19. VI, 1958, 8♂♂, 2♀♀; 21. VI, 1958, 3♂♂, 4♀♀, 法西浩氏採集・所蔵

6. 姫路市大池付近(法西定雄:1960)

19. VI, 1960, 法西定雄氏採集・所蔵

7.* 西脇市高松町宝光院境内

8. VII, 1962, 1♀, 名越寛君採集・所蔵

8.* 姫路市仁豊野町池の奥(通称焼山)

21. VI, 1964, 1♂, 二谷正義氏採集・所蔵

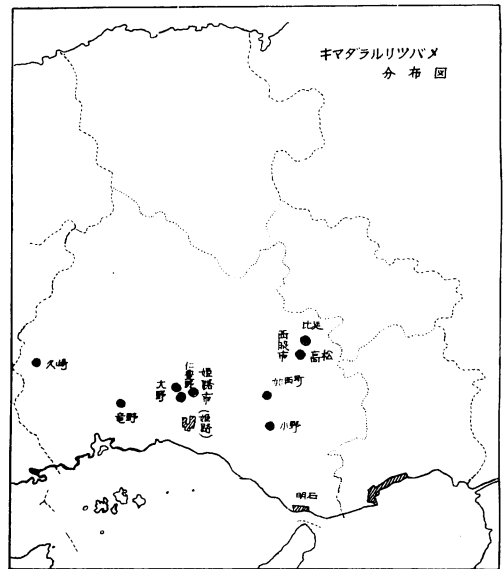
9.* 姫路市仁豊野町小坂山

28. VI, 1964, 1♂, 二谷正義氏採集・所蔵

10.* 西脇市比延町(猪股涼一:1964, 私信)

西脇工業高校生藤井某君が採集している由、1964年6月下旬の採集と思われるが詳細は明らかでない。

なお、上記の他に、西村公夫(1952)に氷ノ山付近の詳細な記録があるが、いずれの地名も兵庫県側の地図に見られないので、省略した。



第2図

第2図の分布図によると、県の背梁山地をはるかに離れた——むしろ平野部に近い低山地に多く、アカマツの分布帯と関係があるらしい。蝶の分布帯は岡山と大阪・京都の産地を結んでおり、さらに、中央山地の北側にも日本海岸に近く、大山・鳥取市・福知山・宮津などをつなぐ生息地帯が予想できるが、現在北但地方の調査が十分でないため判らない。

また、次の1例は、神戸市中学部の作品展に拾った県外のものである。

1. 鳥取県三軒屋, 1. VII, 1961, 永岡眼君採集・所蔵
本種の発生は年1回、♂は6月半ばすぎより現われ、♀は7月に入っても完全な個体が獲られる。私が、小野

(2) 新昆虫11(12), p.47, 1958に1951, VI, 21とあるのは1958, VI, 21のミスプリントである。法西氏の報文でも推察されるが、1958年7月12日付同氏からの私信で明らかである。

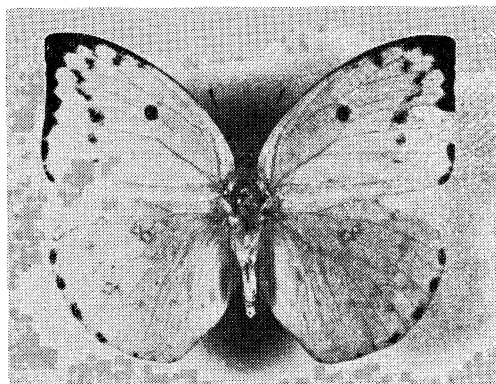
市での観察では、コナラやクスギの混生したアカマツ林（背丈の低い松林）の梢を敏捷に飛びまわり、ときどき松の小枝（葉のしげみや小枝）やクスギの葉上に休止する。しかも、クスギに休止する場所は比較的周りが見えやすい葉末で、私は同じ葉上で3 exs. も連続して採集したことがあり、翌日も、同じ場所で1 ex. を捕えた。やはり、一種の縄張りがあるかのように思われる。動作は夕暮れ近くなっていちだんと活発となり、さきに二谷教諭が、あまり飛ばないので採れやすいといったのは、日週活動の時間的なずれによるものと考える。

3. ギンモンウスキチョウ

Catopsilia pomona FABRICIUS

明石市で採集した1♀が、明石昆虫同好会の標本中に発見された。

この蝶は、琉球の南部から、台湾・フィリピン・マラヤ・インドなど広く東洋熱帯地区に分布し、わが国では、九州（奄美大島・沖永良部島・大分県玖珠郡）・四国（愛媛県松山市・徳島県石井町）・和歌山県（西牟婁郡・和歌山市）・神奈川（大磯町）などから採集された記録がある。しかし、下記のように1県から3例も発見されたのは珍しい。



第3図 ギンモンウスキチョウ，♀
明石市小寺 12.VIII, 1964 採集

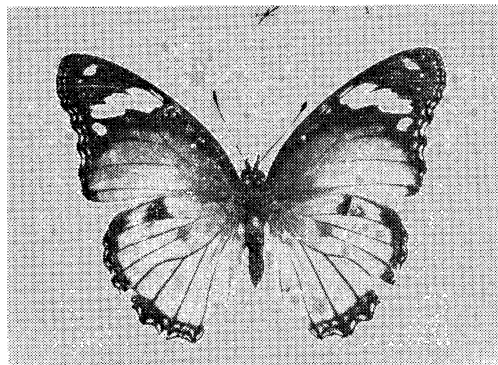
1. 西宮市菊谷町夙川上流 (東正雄: 1960)⁽³⁾
8. VIII, 1958, 1♀, 仲谷勝君採集・東正雄氏所蔵
2. 西宮市菊谷町
3. VII, 1960, 1♂, 仲谷勝君採集・東正雄氏所蔵
- 3.* 明石市小寺 (第3図)
12. VIII, 1964, 1♀, 小川進君採集・所蔵

4. メスアカムラサキ

Hypolimnasia misippus LINNÉ

本種もオーストラリアを含む東洋熱帯地区とアフリカ・アメリカの熱帯亜熱帯に広く分布し、わが国で発見された例も少なくない。

本県からの最初の記録は、1957年明石市で目撃されたもので、私は本年8月神戸市で開かれた昆虫鑑定会に出席して、市内でも採集されているのを知り、ついで、1♂が西宮市で採れていることが判った。すなわち、



第4図 メスアカムラサキ ♀
神戸市旗振山 23.VII, 1964 採集

1. 明石市北王子町 (山口福男: 1957)
16. VIII, 1957, 1♂, 山口福男氏目撃
- 2.* 西宮市武田尾
12. IV, 1963, 1♂, 岡村八郎氏採集・所蔵
- 3.* 神戸市須磨区旗振山頂
23. VII, 1964, 1♀, 橋本知代三君採集・筆者所蔵
4. なお、兵庫高校岡村はた教諭は、1937~8年の頃、同氏の学友が西宮で獲た1♂を持っているのを見たといっている。

以上欄筆するにあたって、貴重な標本や、資料をご提供くださった橋本知代三・猪股涼一・蔵本博美・名越親全・岡本八郎・小川進・尾崎伸一・武田博允・辻啓介の各氏（ABC順）をはじめ、上梓に際し一方ならぬご協力を頂いた県立兵庫高校の近藤昭一郎・室井緯・岡村はた各教諭・姫路市立自然館長古林一実氏に厚くお礼を申しあげる。

文 献

- 東 正雄: (1960) 六甲山系の迷蝶, 兵庫の自然, p. 43
 福田 卓: (1906) きまだらるりつばめノ産地, 博物之友, 6 (32), p. 22
 法西 浩: (1958) 蝶産地3題, 新昆虫, 11(12), p. 47
 法西定雄: (1960) キマダラルリツバメ採集記, MDK News, 13(2), p. 35
 井口宗平: (1950) 佐用郡産蝶類及び天蛾類の採集果, 兵庫生物, (4), p. 50

(3) 東氏はウスキシロチョウとして記録している。

(以下 p. 66へ)

(以下 p. 49より)

西村公夫：(1952) キマダラルリツバメの分布と習性，
新昆虫，5(2)，p. 21～22

中尾淳三：(1959) 水ノ山付近の蝶相，Natura，(16)，
p. 22

延原 肇：(1938) 三木産夜蛾目録その他，兵庫県博物
学会々誌，(16)，p. 119

白水 隆：(1958) 日本産蝶類分布表，(北隆館)

辻 啓介(1961) 扇ノ山の蝶相，兵庫県立農科大学生物
研究部々誌，(2)，p. 64

山口福男：(1957) 明石にメスアカムラサキ現る，新昆
虫，10(12)，p. 35

山本広一：(1958) 小野市の蝶を語る，兵庫生物，3
(4)，p. 252～253

山本広一・吉阪道雄：(1958) 兵庫県産蝶類目録(1)，
兵庫生物，3(4)，p. 267

山本義丸：(1958) 兵庫県氷上郡昆虫目録，p. 12

横山光夫：(1954) 原色日本蝶類図鑑(保育社)